

Coupe du Japon MTB たざわ湖

田沢湖マウンテンバイクフェスティバル2018

6月30日・7月1日の両日、たざわ湖スキー場と田沢湖スポーツセンターの敷地内を会場に、田沢湖MTB（マウンテンバイク）フェスティバルが昨年続き開催されました。

今大会には、ダウンヒルとクロスカントリーの2種目に、全国から230人が出場。30日は悪天候の中、ダウンヒルが行われ、選手たちは特設コースを豪快に駆け下りてタイムを競いました。1日はクロスカントリーが開催され、アップダウンの4.6kmにわたる周回コースで、選手たちの激しいレースが繰り広げられました。



1日に開催されたクロスカントリー。アップダウンの激しい周回コースを全力で駆け抜ける選手たち。



30日に開催されたダウンヒル。雨の中、泥まみれになりながらも、選手たちは猛烈なスピードで坂を下って行きました。



仙北市消防訓練大会

7月1日、落合運動公園駐車場を会場に仙北市消防訓練大会が行われました。市内の消防団10分団から、小型ポンプ操法の部に22チーム、規律訓練の部に7チームが出場し、日頃の訓練の成果を競い合いました。

当日は厳しい暑さの中でしたが、正確かつスピード感のある息の合った動きを見せました。

各部門の上位3チームは7月14日に大仙市で行われた大仙・仙北・美郷支部消防訓練大会に出場しました。



絶妙なコンビネーションを披露。消火活動を競い合った小型ポンプ操法。



機敏な動きをみせた規律訓練。

- ▼主な成績は次のとおりです。
- 小型ポンプ操法の部
 - 優勝 第4分団3班（神代地区）
 - 準優勝 第8分団2班（白岩地区）
 - 第3位 第4分団1班（神代地区）
- 規律訓練の部
 - 優勝 第8分団（白岩地区）
 - 準優勝 第9分団（雲沢地区）
 - 第3位 第10分団（中川地区）
- 個人賞（小型ポンプ）
 - 指揮者 蘭藤道雄（第5分団2班）
 - 1番員 藤元 誠（第8分団2班）
 - 2番員 清水 翼（第4分団3班）
 - 3番員 門脇祐二（第4分団1班）

佐藤義亮生誕140年記念企画展 「新潮社の装幀展」の特別企画 ギャラリートーク



新潮社PR誌「波」編集長の楠瀬啓之さん（右）と新潮社装幀部部長の黒田貴さん（左）。

7月8日まで新潮社記念文学館で開催されていた「新潮社の装幀展」の特別企画として、7月1日にギャラリートークが開催されました。

当日は、新潮社のPR誌「波」編集長の楠瀬啓之さんと同社装幀部部長の黒田貴さんをお迎えして、佐藤義亮が活躍した明治から昭和初期の装幀と「函入り本」の話、新潮社装幀室の仕事と、全3回それぞれ異なるテーマでお話をいただきました。

質疑応答では活発な質問が飛び出し、会場は盛り上がりを見せていました。参加者が、実際に本を手にと

り、装幀の手触りをじっくりと確かめられる時間も。黒田さんは「皆が読む本から本当に好きな人が読む本に変わっていくと思います。本をつくるには作家さんの気持ちと、読者が読みたいと思わせる装幀の両方が大事です」と話しました。

また、この日、千葉県から観光の途中で立ち寄ったという参加者は「思いがけず函入り本の歴史など貴重な話を聞くことができよかったです。最近古い本を処分したばかりだったので、もっと本を大事にしなければと思いました」と話していました。

仙北市納税貯蓄組合連合会総会

7月20日、仙北市田沢湖総合開発センターで、仙北市納税貯蓄組合連合会総会（高橋達会長）が開催され、昨年度の事業報告・収支決算や平成30年度事業計画・予算を認定しました。

総会に先立ち優良組合表彰と永年勤続組合長表彰が行われました。表彰者は以下のとおりです。（敬称略）



- ▼優良組合表彰
菅沢みのり台納税組合
- ▼20年勤続組合長表彰
高橋栄（上男坂二）・三浦完（野中清水）・荒川繁（駅前・角館）・齋藤一夫（上菅沢）・浅利重昭（久保）
- ▼10年勤続組合長表彰
小野信也（駅前・田沢湖）・田口宏（宿南）・柳本久（武蔵野上三）・船山幸男（上森腰）・門脇桂孝（柴倉）・真崎英行（真崎）・藤田洋一（山根町）・三浦正仁（山口）・櫻田米（長戸呂上）・佐藤人志（寺村）

第12回 大仙・仙北・美郷畜産共進会



第1部第5類で優等賞を受賞した相馬勲さんとみゆき号。

7月3日に大仙市神岡・ささくら公園で「第12回大仙・仙北・美郷畜産共進会」が開催されました。

角館町白岩の相馬勲さんのみゆき号が、第1部（肉用牛の部）第5類（県外導入の1）で優等賞を受賞しました。

また市内からは、8農家、16頭が出陳し、うち12頭が上位入賞を果たしました。成績は次のとおり。（敬称略）

- 第1部 肉用牛 第1類（育成雌） 2等賞1席 そのだ174号 菅原孝作（角館）・2等賞2席 たかこ号 高橋拓治（角館）
- 第2類（若雌の1） 1等賞1席 はるにしき391号 田口春美（西木）・1等賞2席 はるにしき390号 田口春美（西木）・2等賞1席 ひさこ号 高橋拓治（角館）
- 第3類（若雌の2） 1等賞1席 そのだ163号 菅原孝作（角館）
- 第5類（県外導入の1） 優等賞 みゆき号 相馬勲（角館）・2等賞1席 ほたる号（農）藤村農場（田沢湖）
- 第6類（県外導入の2） 1等賞2席 ちよ号 相馬勲（角館）
- 第3部 肥育牛 2等賞11席 新年号 伊藤則夫（西木）・2等賞12席 太平号 伊藤則夫（西木）
- 第4部 家兎 2等賞2席 まお 戸澤操（角館）

第13回世界ラート競技選手権大会

男子個人総合優勝 高橋靖彦選手が来庁



門脇市長に優勝の報告に訪れた高橋選手（左）。

5月6日から13日にスイスで開催された「第13回世界ラート競技選手権大会」で男子個人総合優勝を果たした秋田ノーザンハピネッツ所属の高橋靖彦選手（角館町出身）が7月9日、市役所田沢湖庁舎を訪れました。

高橋選手は大会史上初となる3度目の男子個人総合制覇のほか、種目別の「斜転」と「跳躍」も制し、安定した演技で合計3つの金メダルを獲得しました。

選手の傍ら、ラートの第一人者として競技の普及に努める高橋選手は、来年4月21日に秋田県立体育館で開催される予定の「世界ラートチームカップ」にもふれ「ラートの世界大会が日本で初めて開催される。子どもをはじめ、たくさんの人に足を運んでもらい、ラートの魅力を間近で感じていただければ」と話していました。

「世界ラートチームカップ」は、世界選手権で上位だった4か国だけが参加権を得られる非常にハイレベルな大会で、来年はドイツ、スイス、日本、オランダから各4選手が選抜されて出場する予定です。

人権擁護委員委嘱状伝達式



委嘱状を手にする竹田幸博さん（前列左）と佐藤よし子さん（前列右）。

このたび、竹田幸博さん（田沢湖生保内）と佐藤よし子さん（西木町門屋）が法務大臣より人権擁護委員に委嘱され、7月6日に秋田地方法務局大曲支局の鈴木浩一支局長から委嘱状が伝達されました。

地元小学校などへ積極的に啓発活動を行っている竹田さんは再任で2期目。また、元小学校教員である佐藤さんは新任となり、7月1日から3年間の任期で委員を務められます。

鈴木支局長は「人権に関して悩んでいる方は、相談する人が近くにいるということだけで安心する。法務局への相談の入口としてお2人にご活躍いただきたい」と話しました。

神代小学校が入選



右から、照井政裕校長、計画委員会の辻達汰委員長（6年）、環境ボランティア委員会の田口翼委員長（同）、熊谷徹教育長。

平成29年度全日本学校関係緑化コンクール

6月10日、福島県で開催された「第69回全国植樹祭」の会場で、神代小学校が「平成29年度全日本学校関係緑化コンクール」の表彰を受けました。

昨年、同校は「平成29年度秋田県学校関係緑化コンクール」の学校環境緑化の部で県知事賞を受賞、全国コンクールへ推薦されていました。今年3月に開催された中央審査会の結果、学校環境緑化の部で入選（全国7校）を果たしました。

神代小学校は「花のいのちを育む学園」として長年にわたり、花壇づくりをはじめプランター栽培、緑化教育、環境管理などに取り組んできました。

照井校長は「大変うれしい。先人の方々の思いを引き継ぎ、高い評価をいただくことができました。今後も活動を継続しながら、子どもたちの豊かな心を育てていきたい」と話しました。

まちづくり日記

No.136

『看護師さん』

仙北市長 門脇 光浩

先月、10年ぶりのへらひいで体調を崩し、2つの病院で数日を過ごしました。このことで、多くの皆さんに大変なご迷惑をおかけしました。深くお詫び申し上げます。病名は「顔面蜂窩織炎（がんめんほうかしきえん）」と言い、私の場合は顔の左半分が信じられないほど腫れ上がり、頬肉の膨張で左目が開けられませんでした。ヒゲ剃りの傷から雑菌が入り、炎症を起こしたようです。発症から病気の進行に伴い、それぞれの段階で西明寺診療所、市立角館総合病院、秋田大学医学部付属病院にお世話になりました。この医療機関の対応も、持ち味を活かした素晴らしい医療を提供いただきました。

そんな中、今回お話ししたのは看護師さんたちの奮闘ぶりです。朝も夜もテキパキと働き続ける看護師さん。最近是人手不足もあり、キツイ職場の代表みたいに言われています。人の命に関わる職業ですから、職務上の緊張感は大変なものでしょう。しかし、彼女・彼等は笑顔を絶やさず、ただただ献身的に患者を支えてくれます。そのエネルギーは、いったい何なのか…。

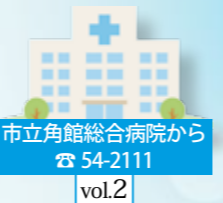
入院中、お見舞いに来られた方に、そんな話題を投げかけたら、次のようなお話をいただきました。

「それは看護師だからです。例えば医師は、自分が提供できる医療に限界を感じたとき、ほんの瞬間だけでも心が患者から離れてしまうことがあると、何かで読んだ記憶があります。ところが看護師は違うと言っています。彼女・彼等が患者と接する行為は、医学とか科学とかに左右されない、人として手を差し出す、寄り添って生きる力になる…、看護師なんです。」

今回、市立角館総合病院で強く感じたことは、勤務する看護師の皆さんの明るさ、そして頑張りや踏ん張りです。新病院に確かな変革の風が吹いています。

そこで、病院事務長に「市民の皆さんに、この病院の今を感じてもらいたいので、たくさん患者さんが来てくれたらいいなあ」と話しました。病院事務長は少し困ったような顔で、「市長、市民は病院に来なくて済むことが何よりの幸せですよ。」

その通りです。



市立角館総合病院から
☎ 54-2111
vol.2

消化器内科の紹介と治療に関して

市立角館総合病院 消化器内科 竹原雄介

当科では、上部・下部消化管（食道・胃・大腸など）、肝胆膵疾患を幅広く診療しています。患者様の外来診察は平日の午前中を中心としています。緊急的な診察や治療を要する場合には可能な限り対応させていただきます。

さて、当科での一般的な検査は、上部・下部内視鏡（胃・大腸カメラ）や腹部超音波などです。内視鏡検査室には個室が2つあり、患者様のプライバシーを保ちながら検査を行うことができます。

視鏡手技には特に力を入れています。ほとんどのポリプ切除は入院を要する必要がなく、外来通院での治療が可能です。また、内科だけで治療が完了しない場合や進行した胃癌・大腸癌などの悪性疾患に対しても、外科との連携を通じて手術や抗がん剤治療を行っています。

最後になりますが、スタッフや医療機器の充実とともに、診断治療レベルのより一層の向上を図り、地域の住民の皆さまが安心して受診していただけるよう今後も日夜努力して参ります。

最近の医療の進歩は目覚ましく、従来の内視鏡では難しかった癌の早期診断や治療が可能となってきています。そのため、新病院移転を契機に、内視鏡機器の新調や最新の拡大内視鏡の導入、さらには内視鏡システムと電子カルテシステムの連動が可能となるよう、当院では検討をしています。

次に、治療に関してです。治療が必要と判断された場合には患者様への十分なお説明を行い、粘膜切除術や止血術、イレウス管挿入、胆嚢穿刺・胆管結石除去術などの治療を行っています。ポリプや早期癌に対する内視鏡的粘膜切除術（EMR、ESD）や胆管結石や胆膵癌に対する内視鏡的逆行性胆道膵管造影（ERCP）などの内

